

東京都医学総合研究所 人対象研究に係る公開事項

研究課題	名称	免疫システムの網羅的解析
	目的	病原細胞および病原体は抗原を発現しており、それを免疫システムであるT cell receptor (TCR), 抗体、免疫細胞が認識し体内から排除する。しかし、抗原と免疫システムの関係は断片的にしか解明されていない。そこで、本研究では癌患者検体、健常者検体、臍帯血検体を用い次の解析を行う。 TCR、抗体、免疫細胞と抗原、HLAの関係を1細胞シーケンス技術、質量分析器、遺伝子工学を駆使することによって網羅的に明らかにする。これによって病気の治療、予防、診断に有用なTCR、抗体、免疫細胞を発見、作出する。また、癌抗原の解析を行うことによって、癌免疫の誘導に役立つ癌ペプチドワクチンも開発する。本研究によって病気の治療、予防、診断に有用なTCR、抗体、遺伝子改変免疫細胞が創出されることが期待される。
	実施期間	2021年9月27日から2027年9月26日
研究責任者 (試料・情報の管理責任者)	職・氏名	東京都医学総合研究所 がん免疫プロジェクト 副参事研究員 丹野 秀崇
	連絡先	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 Tel : 03-5316-3100 E-mail : tanno-hd@igakuken.or.jp
研究対象者	2017年4月1日から実施している研究課題「カルボニルストレスを含む代謝異常と精神疾患の関連に関する遺伝子解析および生化学的研究」において提供した試料について、将来新たに計画される研究に使用することの同意をいただいている方。  日本赤十字社において献血された方で、献血血液が検査不適合だった場合に、研究に用いることに同意されている方。	
試料・情報	取得の方法	成人健常者の末梢血から得られた単核球(PBMC)を用いて以下の解析を行う。
	利用目的及び利用方法	各種抗原(癌抗原、ウイルス抗原、自己抗原)を認識できるTCR、抗体、免疫細胞が存在するかを1細胞シーケンス技術、質量分析器、遺伝子工学により解析する。その際、HLA遺伝子型を解析することもある。また、免疫細胞の遺伝子改変を行うことによって病気の治療・診断・予防に役立つ免疫細胞を創出できるか検証する。
試料・情報の他機関への提供の有無	あり ・ なし	
「あり」の場合：機関の名称及びその長の氏名)		
利用し、又は提供する試料・情報の項目	「カルボニルストレスを含む代謝異常と精神疾患の関連に関する遺伝子解析および生化学的研究」：成人健常者のPBMC検体。利用する情報：年齢、性別。  日本赤十字社：検査不適合となった献血血液(末梢全血)。利用する情報は無し。	
利用する者の範囲	研究機関	東京都医学総合研究所
	研究責任者	丹野 秀崇
	研究機関	
	研究責任者	
利用又は提供の停止	研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料情報の利用又は他の研究機関への提供を停止します。	
(受付方法)	郵送	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 がん免疫プロジェクト 副参事研究員 丹野 秀崇
	メール送信	tanno-hd@igakuken.or.jp
	研究所窓口	156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所
	電話	03-5316-3100
研究計画書等の入手又は閲覧	研究対象者又はその代理人の方は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。	
(入手・閲覧の方法)	上記(受付方法)に記載の各連絡先へご相談ください。	
個人情報の開示手続及び手数料の額	「公益財団法人東京都医学総合研究所個人情報の保護に関する規程」の定めるところによります。	
研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応	本課題の研究責任者(丹野 秀崇)あてお問合せください。	